

宍道高校の卒業生が会員の親睦を厚くし、会員相互の教養を高め、母校の発展を図ることを目的とし発足しました。

会報の名前は校歌の歌詞「朋友に恵まれより輝る」の中より「朋友」としました。

朋友

宍道高校同窓会会報

宍道高校同窓会会報

第6号

発行：松江市宍道町宍道 1586

島根県立宍道高等学校同窓会

発行日：令和4年11月30日

「激動の時代」同窓会会長 米原 一斗

宍道高校同窓会会長をしております、米原一斗と申します。

私が初めて宍道高校の門をくぐったのは、開校一年目の春のことでした。宍道町の豊かな山々や校舎から見える宍道湖といった豊かな自然環境に恵まれた地に設立された本校は、これまで県内になかった単位制といった新しい取り組みがあり、各々が自分で学びたい分野を選び、普通科でありながらも各分野に特化した学習ができるという特色ある学校として県内外の注目を集めました。そして、私が宍道高校を卒業したのは今から10年前のことです。私自身高校生活の3年間は勉学に励み、部活動やアルバイトなど様々なことに挑戦していました。その中で学んだことが進むべき道を切り開き、今の私を形成していると言っても過言ではありません。だからこそ、私は宍道高校で共に学んだ仲間や同じ地で学んだ仲間たちを大切にしていきたいと考えています。

さて、今回の会報にあたっては私自身が全ての仲間たちに伝えていきたいことを話したいと思います。

昨今では、終わりが見えない新型コロナウイルス感染症や凶悪で残酷な事件、海外では戦争・紛争の問題など様々な脅威があります。宍道高校が開校してから今日の間にも世界規模で環境が一変する事態となっています。世界が変化していく中で、卒業した者や在学中である者の環境も大きく変化したものと思います。宍道高校卒業後に進学や就職・結婚・出産など、時代が進むほどに変化していく環境の中で、多くの困難や壁に当たることがあるかと思います。つまずいてしまった時には、共に学んだ仲間のことや教鞭をとっていただいた諸先生方と過ごした時間を少し思い出し、自分の気持ちを見直してみる時間を作ってみてはいかがでしょうか。宍道高校の最大の利点である「自由である」という考えを忘れずに自分自身の可能性を信じて、のびのびとした気持ちを胸に、これからの自分の道を切り開いていけることを願っています。“激動の時代”である今だからこそ仲間との繋がりを大切に、再び会えることを楽しみにしています。

最後になりますが、私自身まだまだ未熟なところばかりで至らぬところも多々あるとは思いますが、自由な意思を持ちながら、同窓会役員をはじめとする卒業生皆様のお力添えのもと精進いたしますので、これからも宜しくお願い申し上げます。 (2012年度 定時制卒業)



「境遇は自らつくる」 松江市議会議員 中村ひかり

同窓生の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。
私は、2014年3月に宍道高校を卒業させていただきました。卒業後も宍道高校の活動、取組などを耳にすると嬉しく感じております。

在学当時の私は23歳。1歳の長男を預けながら通学しておりました。

「子どものために、きちんと高校を卒業して仕事に就きたい」そんな思いから、2010年に開校された通信制課程で学ぶことを決めたのです。知り合いは誰もおらず、人見知りで誰にも話しかけることができない性格だったため、時間を見つけると図書室でレポートを進めたり、資格を取得するため勉強をしたりするのが日課でしたので、図書室が一番の思い出の場所です。図書室には発売されて間もない人気の小説がすぐ棚に並ぶのも楽しみの一つでした。このころ勉強していた宅地建物取引士の資格は、後に合格することができ、夢だった不動産屋を開業することに繋がりました。そして、今は二足の草鞋を履かせていただいております。そんな私の好きな言葉を紹介したいと思います。

「運命自招」。運命は自ら招き、境遇は自らつくるという意味です。やればできる、自分が動かなければ始まらないと、私の背中を押してくれる言葉です。今後は、これまでの自らの経験や皆様のお知恵をお借りしながら、地域へ恩返しができるばと思っております。今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(2013年度 通信制卒業)



「自分らしく生きる your life your own way」 教頭 小橋 達也

宍道高校は2010年に定時制・通信制の独立校として設立されました。

蒼い空にレンガ色の映える校舎。ここに様々な学習履歴・学習動機をもつ生徒たちが集い、開校から令和3年度末までに定時制416名、通信制1,128名、あわせて1,544名が巣立ちました。

近年では定時制で日本語指導が必要な生徒の受け入れや通級指導など特別な支援を必要とする生徒のための取り組み、通信制で後期入学等々、一層充実した学習の場を確保しています。2020年以降に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響で開校10周年記念式典の断念をはじめ多くの行事が制約を受けましたが、今年度は感染症対策をしつつ、遠足や碧雲祭(学園祭)等、様々な活動を有意義に行いました。ちなみに今年の碧雲祭のテーマは「Colors～みんなの個性で染めるキャンパス」でした。このテーマと生徒たちの様子から、閉会式で「自分らしく生きる your life your own way」という言葉を伝えました。これはスチーブン・マイクという作家の言葉です。現代は大人にとっても困難な時代です。生徒たちにはどんな困難にも打ち勝って「自分らしく生きる」ことを大切にしてほしいと願っています。同窓会の皆さまには引き続き本校教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



コンソーシアムのワーキンググループで卒業生が活躍してくれています！！

「コンソーシアム」とは、地域の方々等と連携・協働し、生徒の成長を支えていく組織のことで、島根県の公立高等学校に設置が義務づけられています。宍道高校では令和3年度に、「みずうみのかぜ～宍道☆まなびデザインの会～」として組織されました。

そして、「宍道高校スクールポリシー」、「宍道町のまちづくり総合戦略」に沿って、具体的に活動をする実働部隊を「ワーキンググループ」としています。その「ワーキンググループ」の中で、卒業生の金坂風羽さん・高橋椿太郎さん（2019年度 通信制卒業）・石原彩花さん（2021年度 通信制卒業）が活躍してくれています。

詳しくは、宍道高校ホームページにも載せています。

宍チャレ 第2回メキシコウカンカイ



司会をしているのが金坂さん・高橋さん

好気心ラボ



キャリアガイダンスの講師

「キャリアガイダンス」は、在校生の進路意識を向上させるという目的で実施している学校行事です。令和4年度は6月28日（火）に、宍道高校体育館で行いました。

高校卒業後すぐに就職した方、専門学校や短大を卒業して就職した方、現役大学生の方など7人の卒業生に講師として来校していただきました。

「挑戦することで今の就職先にめぐりあった」、「勉強も受験も地域の活動も楽しもう」、「当たり前のことをするのは簡単そうに見えて、結構むずかしい」、「困った時、迷った時はまわりの人に相談して」など、印象に残る話がありました。

実施後の生徒アンケートでは、ほとんどの生徒が大変参考になったと答えていました。身近な先輩の話から、チャレンジすることの大切さや進路について真剣に向き合わなければならないことなど、多くのことを学ぶことができました。





宍道高等学校創立10周年記念の時に、生徒が宍道高校をイメージしたデザインでクリアファイルを作成しました。「朋友」第6号も、優しい色合いで宍道湖もイメージできる同じカラーで作成してみました。

～事務局より～

○同窓会の事業について

同窓会では、年に2回(4月・1月)、役員会を実施しています。

また、隔年で8月11日(山の日)に同窓会総会・懇親会を実施していましたが、コロナ禍で、2018年の実施を最後に開催できていません。皆様に郵送しています通り、コロナウイルス感染症の収束を見て開催をしたいと思います。

そして、3月の卒業式にあわせて、同窓会入会式を行っています。

令和3年度第2回役員会の様子

県外の米原会長には、
リモートで参加していただきました。



○同窓会の名称を募集中

本校のF T Aは「碧雲会」という名称があります。しかし、同窓会には名称がありません。次の総会で、決まればよいと思っています。親しみやすい、宍道高校同窓会の名称を募集しています。

○住所・お名前などに変更がありましたら、事務局まで、ご連絡ください。

